

# 高田の住宅密集地火災、未だ原因不明

## 「映像通報119」は一定の効果



上越地域消防事務組合の定例議  
会が14日開催されました。そこ  
では、2024年度の一般会計補  
正予算や2025年度の一般会計  
予算などが審議され、いずれの議  
案も全会一致で可決しました。  
私は上越市議会で選ばれた消防  
事務組合の議員の一人です。予算  
案などの審査のなかで私は、火災  
原因、「映像通報119」、大雪  
時の火災、救急業務と道路交通確  
保についてとりあげました。

このうち、火災原因をめぐって  
は、高田の住宅密集地域で3件連  
続して発生した火災原因について  
聞いたところ、2件については  
不明で、1件は放火の疑いありと  
かなが説明しにくい状況を通報者  
がスマートフォンなどで撮影した  
映像を消防署に送信することで速  
やかな対応、効果的な応急手当の  
指導などにつなげることをねらっ  
たものです。私からはこれまでの  
「映像通報119」の活用の実態  
と成果などを質問しました。

のことでした。火  
災予防の普及啓発  
を強化することに  
は異議がないので  
すが、依然として  
原因が不明というの  
は問題だと思えます。す  
べての火災を対象に  
した上越地域消防事務組  
合管内の火災原因究明  
率は最新のデータ（令  
和6年か）で84%、過  
去5年間の平均は83%  
3%でしたが、全国平  
均は88.2%です。こ  
の率をアップさせる対  
策強化を求めました。



【ロウバイ】（再掲）  
ロウバイ科の落葉低木。漢字で「蠟梅」と書きます。冬の晴れた日に黄色の花を見るとあまりにも見事で、最高の気分になります。花が放つ甘い香りも多くの人に愛される理由の一つです。花期は冬で、早いものは12月から黄色い花を咲かせます。花言葉は、「奥ゆかしさ」「慈愛」「先見」など。写真は2月15日、吉川区東田中にて撮影しました。

## 一般会計予算は1025億円規模

上越市は18日、新年度予算を発表  
しました。  
新年度予算は一般会計予算、国民  
健康保険予算など9つありますが、  
このうち一般会計予算の規模は10  
25億6775万円で、ほぼ前年並  
みです。

市長が市議会議員を前にして説明  
した時間はわずか15分ほどでした。  
市長は、上越地域医療センター病院  
の改修や上越病院への財政支援など  
地域医療、原子力防災や連たん家屋  
の防火対策工事支援、避難所の環境  
向上などに多くの時間を割いていま  
した。でも、市民の願いの一つであ  
る上越地域医療センター病院改築に  
は踏み込まず、「基本設計に向けた  
準備を進める」ととどまりました。  
これらの予算は28日から始まる3  
月予算議会で審議されます。



コウノトリの交尾行動の様子を15日の午前、再び撮影しました。吉川区にて撮影。

# はしづめ法一の活動レポート

**No.2193 2025.2.23**  
発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3627  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
URL <https://www.hose1.jp/>

ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第八四〇回

## 連絡先名簿

いざという時に必要なものの一つに緊急事態の時の連絡先情報があります。ところが、その連絡先がなかなか出てこない。みなさんはそういう体験がありませんか。

先日、大潟区のある家にお邪魔し、おいとましようとした際、愛知県稲沢市に住む弟から電話がかかってきました。その数分前に、「キヨウダイが少なくなるとさみしいね。いままで以上に電話したくなる」と話したばかりだったので、「うわさをすれば影だね」と言って、その家の人と笑いました。

弟からの電話は、「長年、店で一緒に働いてくれた人が突然亡くなった。イサムと同じだ。この騒ぎで身内の人と連絡をとるのに苦労した。兄貴もいつくるかわからんよ。いざという時のために家族が連絡先、わかるように紙で貼りだしておいてくれ」というものでした。

もっと具体的に書くと、十数年にわたりの営業を支えてくれた人が突然亡くなった時、スマホを開こうとしたがパスワードがわからず、大事な連絡先を探し出すことができなかった。最終的にはわかったのですが、一番大事な連絡先にたどり着くのに大変苦労したといっていました。

そういう体験をしただけに、わが家のこの状況については、父や母の葬儀のときに見ていたのでしょうか。電話機のそばの柱に私や大潟区に住んでいた弟(故人)などほんの数人の電話番号を書いたものを貼ってあるだけでした。それらはいずれも母が書いたもので、いまは何も貼ってありません。昨年秋の母の法事の時も何も貼っていませんでした。

じつは、昔からそうだったわけではありません。まだ牛を飼っていたころ、親戚の連絡先一覧を整理し、プリントして部屋の壁に貼っていたことがあったのです。いう

までもなく、父や母にいつ重大事態がやってくるかもしれない、その時にと思って準備しておいたのです。一覧表を貼っておいた場所は、いまのわが家ではなく、牛舎管理舎のどこかの部屋だったと思います。

その一覧表は十数年前に牛舎や管理舎を壊すときにそのままにしていたので、解体と同時になくなってしまうたのです。電子データもあつたはずですが、かなり古いデータです。ハードディスクのどこかに保存してあるのでしょうか、まだ確認していません。

ただ、見つかったとしても、何処まで連絡先を書いておくかは微妙なところがあります。新型コロナウイルス感染症が五類に移行したとはいえ、ここ数年で葬儀の形態も大きく変わり、家族だけとか家族とごく身近な親戚だけを呼ぶ葬儀が主流を占めるようになってきました。そんななかで父や母の時のような範囲まで声をかけると、迷惑をかけるのではないか。しほるとすればどこまでしほったらいいのか。正直言って、とても悩ましいのです。

ここまで書いた段階でまた悲しい知らせが入ってきました。私と同じ大潟区旭地区で生まれ、長年にわたりお世話になってきた同い年の女性が車の中で突然発病し、亡くなってしまったということです。

彼女とは亡くなる一週間ほど前、浦川原区の彼女の自宅車庫前で楽しいおしゃべりをしたばかりでした。うらがわら駅で『コウトリさん、ありがとね』と一緒に歌った時のこと、何処かのイベントで踊った時のことなど、話は尽きませんでした。その時の笑顔が思い出され、亡くなったなんてとても信じられませんでした。

人間、いつ何があるかわかりません。どこの家でも緊急連絡先名簿が必要となる時は必ずやってきます。その時がいつやってこようと困らないようにしなければ……。

## 三和、牧区での「灯の回廊」楽しむ

15日の夕方、三和区、牧区で開催されていた「灯の回廊」を観てきました。わずか1時間ほどでしたが、雪の中の灯りの美しさを堪能しました。

最初に訪れた三和区では、雪の中の灯りを撮影していたところ、高校時代の同級生から声をかけられ、びっくりしました。彼からは、三和出身の同級生の思い出や近況などを聴くことができました。こういううれしい出会いがあるから、出かけないと……。

牧区では、木草庵の近くで歩いていた女性グループの人たちから、「春よ来い。いつもありがとうございます」と声をかけていただきました。マスクをされていたので、その人たちの中に私を知っている人がいたかどうかはわかりませんが、こういうところ



でも活動レポートの感想や市政要望などを聴けるというのはありがたいです。

## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月12日(水)	2月19日(水)
上越消防署	0.050	0.057
上越南消防署	0.043	0.050
新井消防署	0.053	0.047
頸北消防署	0.057	0.053
頸南消防署	0.067	0.067
東頸消防署	0.037	0.057
名立分遣所	0.057	0.057
高士分遣所	0.053	0.057